

証券コード 3396
2019年5月13日

株 主 各 位

神戸市中央区浪花町59番地
株式会社 フェリシモ
代表取締役社長 矢崎 和彦

第54期定時株主総会招集ご通知

拝啓 平素は格別のご高配を賜りありがたく厚くお礼申しあげます。

さて、当社第54期定時株主総会を下記のとおり開催いたしますので、ご出席くださいますようご案内申しあげます。

なお、当日ご出席いただけない場合は、書面またはインターネットにより議決権を行使いただくことができますので、お手数ながら後記の株主総会参考書類をご検討くださいますして、後述のご案内に従って2019年5月28日（火曜日）午後5時までに議決権を行使してくださいようお願い申しあげます。

敬 具

記

1. 日 時 2019年5月29日（水曜日）午前10時
2. 場 所 神戸市須磨区弥栄台二丁目7番地
エスパスフェリシモホール
（末尾の会場ご案内図をご参照ください。）
3. 目的事項
報告事項
 1. 第54期（2018年3月1日から2019年2月28日まで）事業報告の内容、連結計算書類の内容並びに会計監査人及び監査等委員会の連結計算書類監査結果報告の件
 2. 第54期（2018年3月1日から2019年2月28日まで）計算書類の内容報告の件
- 決議事項
 - 第1号議案 剰余金の処分の件
 - 第2号議案 取締役（監査等委員である取締役を除く。）4名選任の件
 - 第3号議案 補欠の監査等委員である取締役1名選任の件

4. 議決権行使についてのご案内

(1) 当日ご出席いただける場合

当日ご出席の際は、お手数ながら同封の議決権行使書用紙を会場受付にご提出くださいますようお願い申し上げます。

(2) 書面により議決権を行使される場合

同封の議決権行使書用紙に議案に対する賛否をご表示いただき、2019年5月28日（火曜日）午後5時までに到着するようにご返送くださいますようお願い申し上げます。

(3) インターネットにより議決権を行使される場合

インターネットにより議決権を行使される場合には、次頁の「インターネットによる議決権行使のご案内」をご高覧のうえ、2019年5月28日（火曜日）午後5時までに行使してくださいますようお願い申し上げます。

以 上

~~~~~  
◎本招集ご通知に添付すべき書類のうち、「業務の適正を確保するための体制及びその運用状況」、「連結注記表」及び「個別注記表」につきましては、法令及び当社定款の定めにより、インターネット上の当社ウェブサイト（アドレス <https://www.felissimo.co.jp>）に掲載しておりますので、本招集ご通知には記載しておりません。

従いまして、本招集ご通知に記載している事業報告、連結計算書類及び計算書類は、会計監査人または監査等委員会が会計監査報告または監査報告を作成するに際して監査した事業報告、連結計算書類及び計算書類の一部であります。

◎株主総会参考書類並びに事業報告、連結計算書類及び計算書類に修正が生じた場合は、上記の当社ウェブサイトに掲載させていただきます。

## インターネットによる議決権行使のご案内

インターネットにより議決権を行使される場合は、あらかじめ次の事項をご了承いただきますよう、お願い申し上げます。

### 1. 議決権行使ウェブサイトについて

インターネットによる議決権行使は、当社の指定する次の議決権行使ウェブサイトをご利用いただくことによつてのみ可能です。

議決権行使ウェブサイト <https://www.web54.net>

### 2. 議決権行使のお取扱いについて

- (1) インターネットにより議決権を行使される場合は、同封の議決権行使書用紙に表示された「議決権行使コード」及び「パスワード」をご利用になり、画面の案内に従つて議案に対する賛否をご入力ください。
- (2) 議決権の行使期限は、2019年5月28日（火曜日）午後5時までとなっておりますので、お早めの行使をお願いいたします。
- (3) 書面とインターネットにより、二重に議決権を行使された場合は、インターネットによるものを有効な議決権行使としてお取扱いいたします。また、インターネットによつて複数回数またはパソコン・スマートフォン・携帯電話で重複して議決権を行使された場合は、最後に行われたものを有効な議決権行使としてお取扱いいたします。
- (4) 議決権行使ウェブサイトをご利用いただく際のプロバイダ及び通信事業者の料金（接続料金等）は、株主さまのご負担となります。

### 3. パスワード及び議決権行使コードのお取扱いについて

- (1) パスワードは、ご投票される方が株主さまご本人であることを確認するための重要な情報です。印鑑や暗証番号同様、大切にお取扱いください。
- (2) パスワードは一定回数以上間違えると使用できなくなります。パスワードの再発行をご希望の場合は、画面の案内に従つてお手続きください。
- (3) 議決権行使書用紙に記載されている議決権行使コードは、本総会に限り有効です。

### 4. インターネットによる議決権行使に関するお問い合わせ

- (1) インターネットによる議決権行使に関するご不明な点は、以下にお問い合わせください。

三井住友信託銀行株式会社 証券代行ウェブサポート

【専用ダイヤル】0120-652-031 （午前9時～午後9時）

- (2) ご登録の住所・株式数などについては、以下にお問い合わせください。

①証券会社に口座をお持ちの株主さまは、お取引の証券会社にお問い合わせください。

②証券会社に口座をお持ちでない株主さま（特別口座をお持ちの株主さま）は、以下にお問い合わせください。

三井住友信託銀行株式会社 証券代行事務センター

【専用ダイヤル】0120-782-031 （平日午前9時～午後5時）

## (添付書類)

### 事業報告

(2018年3月1日から  
2019年2月28日まで)

## 1. 企業集団の現況

### (1) 当事業年度の事業の状況

#### ① 事業の経過及び成果

##### 経営成績に関する分析

当連結会計年度におけるわが国の経済は、企業収益や雇用・所得環境の改善が続くなかで、景気は緩やかな回復基調が続いていました。しかしながら、通商問題の動向が世界経済に与える影響や海外経済の不確実性、また相次ぐ自然災害の経済に与える影響により、不透明な状況にありました。

このような状況の中、当社グループは経営理念である「しあわせ社会学の確立と実践」のもと、主力事業である定期便（コレクション）事業の収益力改善と次代を担う新たな事業の育成に取り組んでまいりました。

定期便（コレクション）事業では、顧客との共感をベースにした価値の提供と継続的な関係性を軸としたクラスターマーケティングへの転換を進めており、当連結会計年度も顧客との接点を重視したマーケティング・コミュニケーションを実施してまいりました。

定期便（コレクション）の顧客数につきましては、新規顧客や復活顧客の獲得が目標に届かなかったことで、通期の延べ顧客数は前期を下回りましたが、「Live in comfort（リブ イン コンフォート）」及び「MEDE19F（メデ・ジュウキュウ）」といったファッションアイテムや、継続性の高いカテゴリーである日用消耗品や生活雑貨商品の売上げが好調だったことにより顧客の購入単価が上昇し、下半期の売上高は前年同期を上回って推移しました。一方、上半期の売上高の減少をカバーするには至らず、通期の売上高では前期を下回る結果となりました。

新規事業分野では、引き続き当社の保有リソースや資産を活用したB2B事業が伸長しました。当社の定期便プラットフォームに取引先事業者が出品・出稿できる「FELISSIMO PARTNERS（フェリシモパートナーズ）」事業は取扱高及び出品点数が拡大し、売上高を大きく伸長させました。また、物流及びEC支援事業は店舗配送の支援や当社物流システムとのAPI連携の強化などサー

ビスメニューを拡張し、成長を加速させました。さらに、地域共生事業、及びスマートフォンやSNSを中心としたマーケティングが奏功したファッションブランド「haco! (ハコ)」の売上げも増加したことにより、新規事業分野全体でも前期比で増収となりました。

これらの活動の結果、当連結会計年度における当社グループの売上高は、28,882百万円（前期比 1.4%減）となりました。売上高は減少しましたが原価率が改善したことで、返品調整引当金繰入額及び戻入額調整後の売上総利益は15,436百万円（前期比 0.2%減）となりました。

販売費及び一般管理費につきましては、商品出荷件数の減少による影響や効率改善によるコスト削減効果によって広告費は減少しましたが、送料単価上昇により商品送料が増加したことで、14,902百万円（前期比 2.0%増）となりました。これらの結果、営業利益は534百万円（前期比 37.8%減）となりました。

営業外損益では、為替差益等による営業外収益を191百万円計上したことにより、経常利益は723百万円（前期比 21.0%減）となりました。税金等調整前当期純利益は704百万円（前期比 30.0%減）となり、親会社株主に帰属する当期純利益は695百万円（前期比 30.2%減）となりました。

#### 品目別売上高

| 品 目                 | 金 額    | 前期比 (%) |
|---------------------|--------|---------|
| 服 飾 ・ 服 飾 雑 貨 (百万円) | 20,230 | 100.0   |
| 生 活 関 連 (百万円)       | 7,609  | 97.7    |
| そ の 他 (百万円)         | 1,043  | 81.9    |
| 合 計 (百万円)           | 28,882 | 98.6    |

(注) その他は、品目に分類していない売上げ(新規事業分野の一部の売上げ、複数品目をセットして販売した売上げ、送料売上げ、書店へのカタログ販売等)であります。

② 設備投資の状況

当連結会計年度中において実施いたしました設備投資の総額は1,543百万円であります。その主な内容は次のとおりであります。

イ. 当連結会計年度中に完成した主要設備

当社 新社屋建設用地

ロ. 当連結会計年度中において継続中の主要設備の新設、拡充

当社 新社屋建設

③ 資金調達の状況

特記すべき事項はありません。

④ 事業の譲渡、吸収分割または新設分割の状況

特記すべき事項はありません。

⑤ 他の会社の事業の譲受けの状況

特記すべき事項はありません。

⑥ 吸収合併または吸収分割による他の法人等の事業に関する権利義務の承継の状況

特記すべき事項はありません。

⑦ 他の会社の株式その他の持分または新株予約権等の取得または処分の状況

特記すべき事項はありません。

## (2) 直前3事業年度の財産及び損益の状況

| 区 分                           | 2015年度<br>第51期 | 2016年度<br>第52期 | 2017年度<br>第53期 | 2018年度<br>第54期(当期) |
|-------------------------------|----------------|----------------|----------------|--------------------|
| 売 上 高(百万円)                    | 34,609         | 30,906         | 29,285         | 28,882             |
| 経 常 利 益(△損失)(百万円)             | 374            | △493           | 915            | 723                |
| 親会社株主に帰属する<br>当期純利益(△損失)(百万円) | 657            | △7,548         | 996            | 695                |
| 1株当たり当期純利益(△損失) (円)           | 66.69          | △980.28        | 143.32         | 100.05             |
| 純 資 産(百万円)                    | 24,984         | 14,899         | 16,022         | 16,808             |
| 総 資 産(百万円)                    | 37,401         | 29,062         | 29,846         | 30,658             |
| 1株当たり純資産額 (円)                 | 2,533.19       | 2,143.91       | 2,305.11       | 2,418.22           |

(注) 1株当たり当期純利益(△損失)は期中平均株式総数、1株当たり純資産額は期末発行済株式総数に基づき算出しております。なお、期中平均株式総数及び期末発行済株式総数は、いずれも自己株式を除いて計算しております。

## (3) 重要な親会社及び子会社の状況

### ① 親会社との関係

当社は親会社を有していません。

### ② 重要な子会社の状況

| 会 社 名        | 資 本 金  | 議決権比率   | 主 な 事 業 内 容        |
|--------------|--------|---------|--------------------|
| 株式会社hope for | 100百万円 | 100.00% | ベンチャービジネスへの投資、支援事業 |
| 株式会社LOCCO    | 30百万円  | 100.00% | 物流事業               |
| 株式会社cd.      | 10百万円  | 66.70%  | 経営コンサルティング事業       |

(注) 1. 2018年12月6日付で、株式会社hope forを設立いたしました。  
2. 株式会社LOCCOは、2019年3月29日付で第三者割当増資を行った結果、資本金は75百万円となり、当社の議決権比率は40.00%となりました。

## (4) 対処すべき課題

当社グループでは、主力事業である定期便（コレクション）事業を再構築しつつ、「クラスター戦略」に基づき既存ブランドを再編成して新規ブランドの創出を行うと同時に、成長を担う新規事業の開発と育成を課題として全社で共有し、経営に取り組んでまいります。

当社の定期便（コレクション）事業につきましては、顧客との接点を重視したマーケティング・コミュニケーションにより定期便（コレクション）の新規顧客の獲得及び継続顧客のためのサービス拡充等を行い、顧客体験価値

の向上を図ってまいります。また、「クラスター戦略」に基づきブランディングを強化することで、当社にしかない独自商品の開発、メディアを活用した顧客との接点の拡大及び顧客が体験できる機会・場の創出を行ってまいります。

新規事業分野につきましては、ビジネスプラットフォーム統括本部を新設し、引き続き当社が保有するリソースや資産のオープン化を積極的に進めてまいります。中でも、出品・出稿型のプラットフォーム開放事業や物流リソースを開放した物流・EC支援事業は、取引先各社との提携・協力の下で更なる成長が見込まれる分野であるため、サービスメニューを拡張することにより事業を強化してまいります。

2020年2月期も更なる顧客体験価値の魅力度向上を目標として、中長期的な経営方針である「FELISSIMO VISION2026 STAGE 4」に基づき、特定の価値観に共感する顧客セグメントに対して多様なテーマ設定を行い、そのテーマ設定に沿った魅力的な商品・サービスを提案することで、共感をベースとした顧客との継続的な関係性の確立を目指してまいります。

なお、2020年2月期の当社グループの目標としております経営指標は、連結売上高30,276百万円（前期比 4.8%増）、連結営業利益116百万円（前期比 78.1%減）、連結経常利益195百万円（前期比 73.0%減）、親会社株主に帰属する当期純利益183百万円（前期比 73.6%減）を見込んでおります。

2020年2月期の売上高につきましては2019年2月期を上回る計画となっておりますが、販売費及び一般管理費のうち顧客へ商品を出荷する際の配送料が2019年2月期に比べて増加する見通しであることから、商品送料の増加を見込んでおります。今後配送関連コスト及び他の経費についても見直しを行い利益水準の向上を図ってまいります。現時点では2020年2月期の利益につきましては2019年2月期を下回る見通しとなっております。

## (5) 主要な事業内容（2019年2月28日現在）

当社グループの主たる事業である通信販売事業について記載しております。

| 事業     | 主 要 商 品                                                                             |
|--------|-------------------------------------------------------------------------------------|
| 通信販売事業 | 服飾・服飾雑貨（衣料品、身の回り品）、生活関連品（住宅用品、生活用品、美容健康関連、手芸・余暇関連、食品）等をカタログ、インターネット等を通じて通信販売しております。 |

(6) 主要な営業所等 (2019年2月28日現在)

(当社事業所)

| 事業所                   | 所在地           |
|-----------------------|---------------|
| 本社                    | 神戸市中央区浪花町59番地 |
| エスパスフェリシモ (受注・物流センター) | 神戸市須磨区        |
| 東京オフィス                | 東京都渋谷区        |

(子会社の主要な拠点)

| 子会社名称        | 所在地       |
|--------------|-----------|
| 株式会社hope for | 北海道勇払郡厚真町 |
| 株式会社LOCCO    | 神戸市須磨区    |
| 株式会社cd.      | 東京都渋谷区    |

(注) 2018年12月6日付で、株式会社hope forを設立いたしました。

(7) 使用人の状況 (2019年2月28日現在)

① 企業集団の使用人の状況

| 使用人数        | 前連結会計年度末比増減 |
|-------------|-------------|
| 388 (316) 名 | 11名増 (15名減) |

(注) 使用人数は就業員数であり、パートタイマー及び嘱託社員は ( ) 内に年間の平均人員を外数で記載しております。

② 当社の使用人の状況

| 使用人数        | 前事業年度末比増減   | 平均年齢   | 平均勤続年数 |
|-------------|-------------|--------|--------|
| 388 (316) 名 | 11名増 (15名減) | 43歳1ヵ月 | 17年2ヵ月 |

(注) 使用人数は就業員数であり、パートタイマー及び嘱託社員は ( ) 内に年間の平均人員を外数で記載しております。

(8) 主要な借入先の状況 (2019年2月28日現在)

| 借入先        | 借入額      |
|------------|----------|
| 株式会社三井住友銀行 | 3,000百万円 |

(9) その他企業集団の現況に関する重要な事項

特記すべき事項はありません。

## 2. 会社の現況

### (1) 株式の状況（2019年2月28日現在）

- ① 発行可能株式総数 33,427,200株
- ② 発行済株式の総数 10,043,500株
- ③ 株主数 8,114名
- ④ 大株主（上位10名）

| 株 主 名                     | 持 株 数    | 持 株 比 率 |
|---------------------------|----------|---------|
| 株 式 会 社 目 神 山 事 務 所       | 803,200株 | 11.55%  |
| 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口） | 521,900株 | 7.50%   |
| フ ェ リ シ モ 共 創 会           | 305,500株 | 4.39%   |
| 矢 崎 和 彦                   | 301,040株 | 4.33%   |
| 子 守 康 範                   | 262,640株 | 3.77%   |
| 星 美 佐                     | 262,636株 | 3.77%   |
| 子 守 康 輝                   | 262,636株 | 3.77%   |
| 宮 脇 恒                     | 246,956株 | 3.55%   |
| 日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口）   | 245,800株 | 3.53%   |
| フ ェ リ シ モ 従 業 員 持 株 会     | 180,844株 | 2.60%   |

- (注) 1. 当社は、自己株式3,093,802株を保有しておりますが、上記大株主から除外しております。
2. 持株比率は自己株式を控除して計算しております。

### (2) 新株予約権等の状況

該当事項はありません。

### (3) 会社役員 の 状況

#### ① 取締役の状況 (2019年2月28日現在)

| 地 位              | 氏 名     | 担当及び重要な兼職の状況                                                                     |
|------------------|---------|----------------------------------------------------------------------------------|
| 代表取締役社長          | 矢 崎 和 彦 | 新事業開発本部長<br>株式会社hope for 代表取締役社長                                                 |
| 常 務 取 締 役        | 矢 崎 真 理 | クラスター統括本部長 兼 クラスターMC本部長<br>コーポレートスタイルデザイン本部担当<br>株式会社hope for 取締役                |
| 取 締 役            | 松 田 克 二 | MALOGIC本部長                                                                       |
| 取 締 役            | 松 本 和 子 | クラスター開発本部長 兼 ファッション事業部長                                                          |
| 取 締 役<br>(監査等委員) | 藤 田 清 文 | 弁護士法人淀屋橋・山上合同 弁護士<br>東洋グリーン株式会社 社外取締役<br>いちごグリーンインフラ投資法人 監督役員<br>株式会社幸和製作所 社外取締役 |
| 取 締 役<br>(監査等委員) | 小 林 公 司 | 公認会計士小林公司事務所 公認会計士                                                               |
| 取 締 役<br>(監査等委員) | 浅 田 恒 博 | 税理士法人a-office 代表社員 税理士<br>日本税理士会連合会 副会長<br>近畿税理士会 会長<br>公益財団法人 日本税務研究センター 理事長    |

- (注) 1. 取締役(監査等委員)藤田清文氏、小林公司氏及び浅田恒博氏は、社外取締役であります。また、当該3氏を株式会社東京証券取引所の定めに基づく独立役員として指定し、同取引所に独立役員届出書を提出しております。
2. 取締役(監査等委員)小林公司氏は、公認会計士の資格を有しており、財務及び会計に関する相当程度の知見を有しております。
3. 取締役(監査等委員)浅田恒博氏は、税理士の資格を有しており、財務及び会計に関する相当程度の知見を有しております。
4. 当社は、監査等委員会の職務を補助する監査等委員会スタッフを配置しているため、常勤の監査等委員を選定しておりません。

#### ② 当事業年度の末日後における取締役の担当の異動 (2019年3月1日付)

| 地 位     | 氏 名     | 異 動 後             | 異 動 前      |
|---------|---------|-------------------|------------|
| 代表取締役社長 | 矢 崎 和 彦 | ビジネスプラットフォーム統括本部長 | 新事業開発本部長   |
| 取 締 役   | 松 田 克 二 | プラットフォーム開発本部長     | MALOGIC本部長 |

③ 執行役員の状況（2019年2月28日現在）

| 地 位         | 氏 名     | 担当及び重要な兼職の状況                             |
|-------------|---------|------------------------------------------|
| 上 級 執 行 役 員 | 青 木 史 子 | 新事業開発本部長付 兼 社長室長                         |
| 執 行 役 員     | 若 狭 文 男 | クラスター開発本部生活雑貨事業部長                        |
| 執 行 役 員     | 金 水 正   | コーポレートスタイルデザイン本部長 兼 総務部長                 |
| 執 行 役 員     | 葛 西 龍 也 | 新事業開発本部長付 兼 haco!事業部長<br>株式会社cd. 代表取締役社長 |
| 執 行 役 員     | 宮 本 孝 一 | 経営企画室長                                   |

（注）2019年2月28日付で、金水正氏は執行役員を退任いたしました。

④ 当事業年度の末日後における執行役員の担当の異動（2019年3月1日付）

| 地 位     | 氏 名     | 異 動 後                                   | 異 動 前                                                     |
|---------|---------|-----------------------------------------|-----------------------------------------------------------|
| 上級執行役員  | 青 木 史 子 | 新事業開発本部長 兼 社長室長<br>兼 ビジネスプラットフォーム統括本部長付 | 新事業開発本部長付 兼 社長室長                                          |
| 執 行 役 員 | 荒 岡 芳 彦 | コーポレートスタイルデザイン本部長<br>兼 総務部長             | コーポレートスタイルデザイン本部副本部長<br>兼 組織・人材開発室長<br>兼 クラスターMC本部 MC推進室長 |

（注）2019年3月1日付で、荒岡芳彦氏は執行役員に就任いたしました。

⑤ 取締役を支払った報酬等の総額

| 区 分                         | 員 数          | 支 給 額             |
|-----------------------------|--------------|-------------------|
| 取締役（監査等委員を除く）               | 4 名          | 100百万円            |
| 取締役（監 査 等 委 員）<br>（うち社外取締役） | 3 名<br>(3 名) | 9 百万円<br>(9 百万円)  |
| 合 計<br>（うち社外取締役）            | 7 名<br>(3 名) | 110百万円<br>(9 百万円) |

- （注） 1. 合計欄は、実際の支給人数を記載しております。
2. 取締役の支給額には、使用人兼務取締役の使用人分給与は含まれておりません。
3. 取締役の報酬限度額は、2016年5月26日開催の第51期定時株主総会において、取締役（監査等委員を除く）について年額300百万円以内（ただし、使用人分給与は含まない）、取締役（監査等委員）について年額40百万円以内と決議いただいております。
4. 業績の低迷を受け、経営責任を明確にするため、2018年3月から2019年2月まで、次のとおり報酬の減額を実施しております。
- ・代表取締役社長 月額報酬の20%を減額
  - ・取締役（監査等委員を除く） 月額報酬の10%を減額

⑥ 社外役員に関する事項

イ. 重要な兼職先と当社との関係

各社外取締役の重要な兼職先は、それぞれ次のとおりです。なお、いずれも当社と各兼職先との間に特別の関係はありません。

|                        | 重 要 な 兼 職 先                                                                      |
|------------------------|----------------------------------------------------------------------------------|
| 取締役<br>(監査等委員) 藤 田 清 文 | 弁護士法人淀屋橋・山上合同 弁護士<br>東洋グリーン株式会社 社外取締役<br>いちごグリーンインフラ投資法人 監督役員<br>株式会社幸和製作所 社外取締役 |
| 取締役<br>(監査等委員) 小 林 公 司 | 公認会計士小林公司事務所 公認会計士                                                               |
| 取締役<br>(監査等委員) 浅 田 恒 博 | 税理士法人a-office 代表社員 税理士<br>日本税理士会連合会 副会長<br>近畿税理士会 会長<br>公益財団法人 日本税務研究センター 理事長    |

ロ. 主要取引先等特定関係事業者との関係

該当事項はありません。

ハ. 当事業年度における主な活動状況

|                        | 活 動 状 況                                                                                          |
|------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 取締役<br>(監査等委員) 藤 田 清 文 | 当事業年度に開催された取締役会14回のうち13回に出席し、また監査等委員会14回のうち13回に出席いたしました。弁護士としての専門的見地と豊富な経験から、適宜、必要な発言を行っております。   |
| 取締役<br>(監査等委員) 小 林 公 司 | 当事業年度に開催された取締役会14回のうち14回に出席し、また監査等委員会14回のうち14回に出席いたしました。公認会計士としての専門的見地と豊富な経験から、適宜、必要な発言を行っております。 |
| 取締役<br>(監査等委員) 浅 田 恒 博 | 当事業年度に開催された取締役会14回のうち12回に出席し、また監査等委員会14回のうち12回に出席いたしました。税理士としての専門的見地と豊富な経験から、適宜、必要な発言を行っております。   |

二. 責任限定契約の内容の概要

当社と社外取締役全員は、会社法第427条第1項の規定に基づき、同法第423条第1項の損害賠償責任を限定する契約を締結しております。

当該契約に基づく損害賠償責任の限度額は、同法第425条第1項に定める最低責任限度額であります。

#### (4) 会計監査人の状況

① 会計監査人の名称 P w C あらた有限責任監査法人

② 当事業年度に係る会計監査人の報酬等の額

- ・ 公認会計士法第2条第1項の監査業務の報酬 35百万円
- ・ 当社及び子会社が支払うべき金銭その他の財産上の利益の合計額 35百万円

(注) 1. 会社法監査と金融商品取引法監査の報酬等の額を明確に区分できないため、その合計額を記載しております。

2. 監査等委員会は、会計監査人の監査計画の内容、会計監査の職務遂行状況及び報酬見積りの算出根拠等が適切であるかどうかについて必要な検証を行ったうえで、会計監査人の報酬等の額について同意の判断をいたしました。

③ 非監査業務の内容

該当事項はありません。

④ 会計監査人の解任または不再任の決定の方針

監査等委員会は、会計監査人の職務の執行に支障がある場合等、その必要があると判断した場合に、株主総会に提出する会計監査人の解任または不再任に関する議案の内容を決定いたします。

また、監査等委員会は、会計監査人が会社法第340条第1項各号のいずれかに該当すると認められる場合に、監査等委員全員の同意に基づき、会計監査人を解任いたします。この場合、監査等委員会が選定した監査等委員は、解任後最初に招集される株主総会におきまして、会計監査人を解任した旨と解任の理由を報告いたします。

⑤ 責任限定契約の内容の概要

該当事項はありません。

# 連結貸借対照表

(2019年2月28日現在)

(単位：百万円)

| 科 目               | 金 額    | 科 目               | 金 額    |
|-------------------|--------|-------------------|--------|
| 資 産 の 部           |        | 負 債 の 部           |        |
| 流 動 資 産           | 26,095 | 流 動 負 債           | 7,463  |
| 現金及び預金            | 16,635 | 支払手形及び買掛金         | 1,403  |
| 売 掛 金             | 2,707  | 電 子 記 録 債 務       | 1,541  |
| 有 価 証 券           | 2,000  | 支 払 信 託           | 2,514  |
| 信 託 受 益 権         | 507    | 未 払 金             | 1,222  |
| 商 品               | 3,773  | リ ー ス 債 務         | 8      |
| 貯 蔵 品             | 68     | 未 払 法 人 税 等       | 42     |
| 未 収 消 費 税 等       | 16     | 未 払 消 費 税 等       | 0      |
| そ の 他             | 426    | 繰 延 税 金 負 債       | 0      |
| 貸 倒 引 当 金         | △39    | 売 上 値 引 引 当 金     | 6      |
| 固 定 資 産           | 4,562  | 返 品 調 整 引 当 金     | 71     |
| 有 形 固 定 資 産       | 2,458  | 販 売 促 進 引 当 金     | 208    |
| 建 物 及 び 構 築 物     | 202    | 賞 与 引 当 金         | 154    |
| 機 械 装 置 及 び 運 搬 具 | 46     | そ の 他             | 287    |
| 工 具 器 具 備 品       | 110    | 固 定 負 債           | 6,386  |
| 土 地               | 1,946  | 長 期 借 入 金         | 3,000  |
| リ ー ス 資 産         | 0      | 繰 延 税 金 負 債       | 11     |
| 建 設 仮 勘 定         | 153    | 退 職 給 付 に 係 る 負 債 | 2,985  |
| 無 形 固 定 資 産       | 674    | 資 産 除 去 債 務       | 111    |
| ソ フ ト ウ ェ ア       | 591    | そ の 他             | 277    |
| そ の 他             | 82     | 負 債 合 計           | 13,849 |
| 投 資 そ の 他 の 資 産   | 1,429  | 純 資 産 の 部         |        |
| 投 資 有 価 証 券       | 1,197  | 株 主 資 本           | 16,791 |
| そ の 他             | 232    | 資 本 金             | 1,868  |
| 資 産 合 計           | 30,658 | 資 本 剰 余 金         | 4,842  |
|                   |        | 利 益 剰 余 金         | 13,114 |
|                   |        | 自 己 株 式           | △3,033 |
|                   |        | その他の包括利益累計額       | 14     |
|                   |        | その他有価証券評価差額金      | 25     |
|                   |        | 繰延ヘッジ損益           | 1      |
|                   |        | 退職給付に係る調整累計額      | △13    |
|                   |        | 非支配株主持分           | 2      |
|                   |        | 純 資 産 合 計         | 16,808 |
|                   |        | 負 債 及 び 純 資 産 合 計 | 30,658 |

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

# 連結損益計算書

(2018年3月1日から  
2019年2月28日まで)

(単位：百万円)

| 科 目             | 金 額 |        |
|-----------------|-----|--------|
| 売上高             |     | 28,882 |
| 売上原価            |     | 13,464 |
| 売上総利益           |     | 15,417 |
| 返品調整引当金戻入額      |     | 90     |
| 返品調整引当金繰入額      |     | 71     |
| 差引売上総利益         |     | 15,436 |
| 販売費及び一般管理費      |     | 14,902 |
| 営業利益            |     | 534    |
| 営業外収益           |     |        |
| 受取利息            | 37  |        |
| 受取家賃            | 11  |        |
| 為替差益            | 74  |        |
| 受取補償金           | 16  |        |
| 預り金精算益          | 6   |        |
| 信託受益権運用益        | 4   |        |
| その他の            | 40  | 191    |
| 営業外費用           |     |        |
| 支払利息            | 1   |        |
| その他             | 1   | 2      |
| 経常利益            |     | 723    |
| 特別損失            |     |        |
| 固定資産除却損         | 18  | 18     |
| 税金等調整前当期純利益     |     | 704    |
| 法人税、住民税及び事業税    | 8   | 8      |
| 当期純利益           |     | 695    |
| 非支配株主に帰属する当期純利益 |     | 0      |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 |     | 695    |

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

# 連結株主資本等変動計算書

(2018年3月1日から  
2019年2月28日まで)

(単位：百万円)

|                               | 株 主 資 本 |       |        |         |        |
|-------------------------------|---------|-------|--------|---------|--------|
|                               | 資 本 金   | 資本剰余金 | 利益剰余金  | 自 己 株 式 | 株主資本合計 |
| 当 期 首 残 高                     | 1,868   | 4,842 | 12,453 | △3,033  | 16,131 |
| 当 期 変 動 額                     |         |       |        |         |        |
| 剰 余 金 の 配 当                   |         |       | △34    |         | △34    |
| 親会社株主に帰属する<br>当 期 純 利 益       |         |       | 695    |         | 695    |
| 株主資本以外の項目の<br>当 期 変 動 額 (純 額) |         |       |        |         |        |
| 当 期 変 動 額 合 計                 | —       | —     | 660    | —       | 660    |
| 当 期 末 残 高                     | 1,868   | 4,842 | 13,114 | △3,033  | 16,791 |

|                               | その他の包括利益累計額                   |                  |                               |                                 | 非支配株主<br>持 分 | 純資産合計  |
|-------------------------------|-------------------------------|------------------|-------------------------------|---------------------------------|--------------|--------|
|                               | そ の 他<br>有 価 証 券<br>評 価 差 額 金 | 繰 延 ヘ ッ ジ<br>損 益 | 退 職 給 付<br>に 係 る<br>調 整 累 計 額 | そ の 他 の<br>包 括 利 益<br>累 計 額 合 計 |              |        |
| 当 期 首 残 高                     | 28                            | △16              | △123                          | △111                            | 2            | 16,022 |
| 当 期 変 動 額                     |                               |                  |                               |                                 |              |        |
| 剰 余 金 の 配 当                   |                               |                  |                               |                                 |              | △34    |
| 親会社株主に帰属する<br>当 期 純 利 益       |                               |                  |                               |                                 |              | 695    |
| 株主資本以外の項目の<br>当 期 変 動 額 (純 額) | △2                            | 17               | 110                           | 125                             | 0            | 126    |
| 当 期 変 動 額 合 計                 | △2                            | 17               | 110                           | 125                             | 0            | 786    |
| 当 期 末 残 高                     | 25                            | 1                | △13                           | 14                              | 2            | 16,808 |

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

# 貸借対照表

(2019年2月28日現在)

(単位：百万円)

| 科 目             | 金 額    | 科 目                     | 金 額    |
|-----------------|--------|-------------------------|--------|
| 資 産 の 部         |        | 負 債 の 部                 |        |
| 流 動 資 産         | 25,870 | 流 動 負 債                 | 7,461  |
| 現 金 及 び 預 金     | 16,411 | 支 払 手 形                 | 376    |
| 売 掛 金           | 2,706  | 電 子 記 録 債 務             | 1,541  |
| 有 価 証 券         | 2,000  | 支 払 信 託                 | 2,514  |
| 信 託 受 益 権       | 507    | 買 掛 金                   | 1,027  |
| 商 品             | 3,773  | リ ー ス 債 務               | 8      |
| 貯 蔵 品           | 68     | 未 払 金                   | 1,221  |
| 前 払 費 用         | 176    | 未 払 費 用                 | 110    |
| 未 収 消 費 税 等     | 16     | 未 払 法 人 税 等             | 42     |
| そ の 他           | 250    | 繰 延 税 金 負 債             | 0      |
| 貸 倒 引 当 金       | △39    | 前 受 金                   | 30     |
| 固 定 資 産         | 4,798  | 預 り 金                   | 137    |
| 有 形 固 定 資 産     | 2,458  | 売 上 値 引 引 当 金           | 6      |
| 建 物             | 202    | 返 品 調 整 引 当 金           | 71     |
| 構 築 物           | 0      | 販 売 促 進 引 当 金           | 208    |
| 機 械 及 び 装 置     | 46     | 賞 与 引 当 金               | 154    |
| 車 両 運 搬 具       | 0      | そ の 他                   | 8      |
| 工 具 器 具 備 品     | 110    | 固 定 負 債                 | 6,372  |
| 土 地             | 1,946  | 長 期 借 入 金               | 3,000  |
| リ ー ス 資 産       | 0      | 繰 延 税 金 負 債             | 11     |
| 建 設 仮 勘 定       | 153    | 退 職 給 付 引 当 金           | 2,971  |
| 無 形 固 定 資 産     | 673    | 資 産 除 去 債 務             | 111    |
| ソ フ ト ウ ェ ア     | 591    | そ の 他                   | 277    |
| そ の 他           | 82     | 負 債 合 計                 | 13,834 |
| 投 資 そ の 他 の 資 産 | 1,666  | 純 資 産 の 部               |        |
| 投 資 有 価 証 券     | 1,197  | 株 主 資 本                 | 16,808 |
| 関 係 会 社 株 式     | 247    | 資 本 金                   | 1,868  |
| 長 期 前 払 費 用     | 4      | 資 本 剰 余 金               | 4,842  |
| そ の 他           | 217    | 資 本 準 備 金               | 4,842  |
| 資 産 合 計         | 30,669 | 利 益 剰 余 金               | 13,130 |
|                 |        | 利 益 準 備 金               | 24     |
|                 |        | そ の 他 利 益 剰 余 金         | 13,105 |
|                 |        | 別 途 積 立 金               | 10,660 |
|                 |        | 繰 越 利 益 剰 余 金           | 2,445  |
|                 |        | 自 己 株 式                 | △3,033 |
|                 |        | 評 価 ・ 換 算 差 額 等         | 27     |
|                 |        | そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金 | 25     |
|                 |        | 繰 延 ヘ ッ ジ 損 益           | 1      |
|                 |        | 純 資 産 合 計               | 16,835 |
|                 |        | 負 債 及 び 純 資 産 合 計       | 30,669 |

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

# 損 益 計 算 書

（2018年3月1日から  
2019年2月28日まで）

（単位：百万円）

| 科 目                 | 金 額 | 額      |
|---------------------|-----|--------|
| 売 上 高               |     | 28,871 |
| 売 上 原 価             |     | 13,463 |
| 売 上 総 利 益           |     | 15,408 |
| 返品調整引当金戻入額          |     | 90     |
| 返品調整引当金繰入額          |     | 71     |
| 差 引 売 上 総 利 益       |     | 15,427 |
| 販 売 費 及 び 一 般 管 理 費 |     | 14,893 |
| 営 業 利 益             |     | 533    |
| 営 業 外 収 益           |     |        |
| 受 取 利 息             | 33  |        |
| 受 取 家 賃             | 11  |        |
| 為 替 差 益             | 74  |        |
| 受 取 補 償 金           | 16  |        |
| 預 り 金 精 算 益         | 6   |        |
| 信 託 受 益 権 運 用 益     | 4   |        |
| そ の 他               | 46  | 193    |
| 営 業 外 費 用           |     |        |
| 支 払 利 息             | 1   |        |
| そ の 他               | 1   | 2      |
| 経 常 利 益             |     | 724    |
| 特 別 損 失             |     |        |
| 固 定 資 産 除 却 損       | 18  | 18     |
| 税 引 前 当 期 純 利 益     |     | 705    |
| 法人税、住民税及び事業税        | 8   | 8      |
| 当 期 純 利 益           |     | 697    |

（注）記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

# 株主資本等変動計算書

(2018年3月1日から  
2019年2月28日まで)

(単位：百万円)

|                         | 株 主 資 本 |           |              |           |          |               |              |
|-------------------------|---------|-----------|--------------|-----------|----------|---------------|--------------|
|                         | 資 本 金   | 資 本 剰 余 金 |              | 利 益 剰 余 金 |          |               |              |
|                         |         | 資本準備金     | 資本剰余金<br>合 計 | 利益準備金     | その他利益剰余金 |               | 利益剰余金<br>合 計 |
|                         |         |           |              |           | 別途積立金    | 繰越利益<br>剰 余 金 |              |
| 当 期 首 残 高               | 1,868   | 4,842     | 4,842        | 24        | 10,660   | 1,783         | 12,468       |
| 当 期 変 動 額               |         |           |              |           |          |               |              |
| 剰 余 金 の 配 当             |         |           |              |           |          | △34           | △34          |
| 当 期 純 利 益               |         |           |              |           |          | 697           | 697          |
| 株主資本以外の項目の<br>当期変動額（純額） |         |           |              |           |          |               |              |
| 当 期 変 動 額 合 計           | －       | －         | －            | －         | －        | 662           | 662          |
| 当 期 末 残 高               | 1,868   | 4,842     | 4,842        | 24        | 10,660   | 2,445         | 13,130       |

|                         | 株主資本    |                | 評価・換算差額等         |              |                        | 純資産合計  |
|-------------------------|---------|----------------|------------------|--------------|------------------------|--------|
|                         | 自 己 株 式 | 株 主 資 本<br>合 計 | その他有価証券<br>評価差額金 | 繰延ヘッジ<br>損 益 | 評 価 ・ 換 算<br>差 額 等 合 計 |        |
| 当 期 首 残 高               | △3,033  | 16,145         | 28               | △16          | 11                     | 16,157 |
| 当 期 変 動 額               |         |                |                  |              |                        |        |
| 剰 余 金 の 配 当             |         | △34            |                  |              |                        | △34    |
| 当 期 純 利 益               |         | 697            |                  |              |                        | 697    |
| 株主資本以外の項目の<br>当期変動額（純額） |         |                | △2               | 17           | 15                     | 15     |
| 当 期 変 動 額 合 計           | －       | 662            | △2               | 17           | 15                     | 678    |
| 当 期 末 残 高               | △3,033  | 16,808         | 25               | 1            | 27                     | 16,835 |

（注）記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

## 連結計算書類に係る会計監査報告

### 独立監査人の監査報告書

2019年4月18日

株式会社フェリシモ  
取締役会 御中

#### PwCあらた有限責任監査法人

指定有限責任社員 業務執行社員 公認会計士 川 原 光 爵 ⑩  
指定有限責任社員 業務執行社員 公認会計士 北 野 和 行 ⑩

当監査法人は、会社法第444条第4項の規定に基づき、株式会社フェリシモの2018年3月1日から2019年2月28日までの連結会計年度の連結計算書類、すなわち、連結貸借対照表、連結損益計算書、連結株主資本等変動計算書及び連結注記表について監査を行った。

#### 連結計算書類に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して連結計算書類を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない連結計算書類を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

#### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した監査に基づいて、独立の立場から連結計算書類に対する意見を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、当監査法人に連結計算書類に重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得るために、監査計画を策定し、これに基づき監査を実施することを求めている。

監査においては、連結計算書類の金額及び開示について監査証拠を入手するための手続が実施される。監査手続は、当監査法人の判断により、不正又は誤謬による連結計算書類の重要な虚偽表示のリスクの評価に基づいて選択及び適用される。監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、当監査法人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、連結計算書類の作成と適正な表示に関連する内部統制を検討する。また、監査には、経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた見積りの評価も含め全体としての連結計算書類の表示を検討することが含まれる。

当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

#### 監査意見

当監査法人は、上記の連結計算書類が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、株式会社フェリシモ及び連結子会社からなる企業集団の当該連結計算書類に係る期間の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

#### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

# 計算書類に係る会計監査報告

## 独立監査人の監査報告書

2019年4月18日

株式会社フェリシモ  
取締役会 御中

### PwCあらた有限責任監査法人

指定有限責任社員 業務執行社員 公認会計士 川 原 光 爵 ⑩  
指定有限責任社員 業務執行社員 公認会計士 北 野 和 行 ⑩

当監査法人は、会社法第436条第2項第1号の規定に基づき、株式会社フェリシモの2018年3月1日から2019年2月28日までの第54期事業年度の計算書類、すなわち、貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書及び個別注記表並びにその附属明細書について監査を行った。

#### 計算書類等に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して計算書類及びその附属明細書を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない計算書類及びその附属明細書を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

#### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した監査に基づいて、独立の立場から計算書類及びその附属明細書に対する意見を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、当監査法人に計算書類及びその附属明細書に重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得るために、監査計画を策定し、これに基づき監査を実施することを求めている。

監査においては、計算書類及びその附属明細書の金額及び開示について監査証拠を入手するための手続が実施される。監査手続は、当監査法人の判断により、不正又は誤謬による計算書類及びその附属明細書の重要な虚偽表示のリスクの評価に基づいて選択及び適用される。監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、当監査法人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、計算書類及びその附属明細書の作成と適正な表示に関連する内部統制を検討する。また、監査には、経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた見積りの評価も含め全体としての計算書類及びその附属明細書の表示を検討することが含まれる。

当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

#### 監査意見

当監査法人は、上記の計算書類及びその附属明細書が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、当該計算書類及びその附属明細書に係る期間の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

#### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

## 監査等委員会の監査報告

### 監 査 報 告 書

当監査等委員会は、2018年3月1日から2019年2月28日までの第54期事業年度における取締役の職務の執行について監査いたしました。その方法及び結果につき以下のとおり報告いたします。

#### 1. 監査の方法及びその内容

監査等委員会は、会社法第399条の13第1項第1号ロ及びハに掲げる事項に関する取締役会決議の内容並びに当該決議に基づき整備されている体制（内部統制システム）について取締役及び使用人等からその構築及び運用の状況について定期的に報告を受け、必要に応じて説明を求め、意見を表明するとともに、下記の方法で監査を実施しました。

①監査等委員会が定めた監査の方針、職務の分担等に従い、会社の内部監査部門その他内部統制所管部門と連携の上、重要な会議に出席し、取締役及び使用人等からその職務の執行に関する事項の報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、本社及び主要な事業所において業務及び財産の状況を調査しました。また、子会社については、内部統制所管部門から事業の報告を受けました。

②会計監査人が独立の立場を保持し、かつ、適正な監査を実施しているかを監視及び検証するとともに、会計監査人からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求めました。また、会計監査人から「職務の遂行が適正に行われることを確保するための体制」（会社計算規則第131条各号に掲げる事項）を「監査に関する品質管理基準」（平成17年10月28日企業会計審議会）等に従って整備している旨の通知を受け、必要に応じて説明を求めました。

以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告及びその附属明細書、計算書類（貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書及び個別注記表）及びその附属明細書並びに連結計算書類（連結貸借対照表、連結損益計算書、連結株主資本等変動計算書及び連結注記表）について検討いたしました。

## 2. 監査の結果

### (1) 事業報告等の監査結果

- ① 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、会社の状況を正しく示しているものと認めます。
- ② 取締役の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実はありません。
- ③ 内部統制システムに関する取締役会の決議の内容は相当であると認めます。また、当該内部統制システムに関する事業報告の記載内容及び取締役の職務の執行についても、指摘すべき事項はありません。

### (2) 計算書類及びその附属明細書の監査結果

会計監査人 P w C あらた有限責任監査法人の監査の方法及び結果は相当であると認めます。

### (3) 連結計算書類の監査結果

会計監査人 P w C あらた有限責任監査法人の監査の方法及び結果は相当であると認めます。

2019年4月24日

株式会社フェリシモ 監査等委員会

監査等委員 藤 田 清 文 ⑩

監査等委員 小 林 公 司 ⑩

監査等委員 浅 田 恒 博 ⑩

(注) 監査等委員 藤田清文、小林公司及び浅田恒博は会社法第2条第15号及び第331条第6項に規定する社外取締役であります。

以 上

# 株主総会参考書類

## 第1号議案 剰余金の処分の件

剰余金の処分につきましては、以下のとおりといたしたいと存じます。

### 期末配当に関する事項

第54期の期末配当につきましては、当期の業績等を勘案いたしまして、1株につき5円といたしたいと存じます。

なお、内部留保資金につきましては、企業体質の強化と今後の事業展開資金として活用し、業績の向上に努める所存であります。

#### ① 配当財産の種類

金銭といたします。

#### ② 配当財産の割当てに関する事項及びその総額

当社普通株式1株につき5円といたしたいと存じます。

なお、この場合の配当総額は34,748,490円となります。

#### ③ 剰余金の配当が効力を生じる日

2019年5月30日といたしたいと存じます。

## 第2号議案 取締役（監査等委員である取締役を除く。）4名選任の件

取締役（監査等委員である取締役を除く。以下、本議案において同じ。）全員（4名）は、本総会終結の時をもって任期満了となります。

つきましては、取締役4名の選任をお願いいたしたいと存じます。

なお、本議案に関しましては、当社の監査等委員会は、すべての取締役候補者について適任であると判断しております。

取締役候補者は、次のとおりであります。

| 候補者番号 | 氏名<br>(生年月日)                              | 略歴、当社における地位、担当及び重要な兼職の状況                                                                                                                                                                                                                                                                                       | 所有する当社の株式数 |
|-------|-------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------|
| 1     | や ぎ き か ず ひ こ<br>矢 崎 和 彦<br>(1955年7月10日生) | 1978年4月 当社入社 事業本部長<br>1980年1月 取締役事業本部長<br>1984年4月 常務取締役マーケティング本部長<br>1985年4月 専務取締役マーケティング本部長<br>1986年4月 取締役副社長<br>1987年4月 代表取締役社長（現任）<br>2014年3月 新事業開発本部長<br>2019年3月 ビジネスプラットフォーム統括本部長（現任）<br><br>[重要な兼職の状況]<br>株式会社hope for 代表取締役社長                                                                           | 301,040株   |
| 2     | や ぎ き ま さ よ し<br>矢 崎 真 理<br>(1982年6月7日生)  | 2005年4月 京セラ株式会社入社<br>2008年3月 当社入社<br>2013年3月 事業企画部長兼社長室長<br>2013年5月 取締役<br>2014年3月 新事業開発本部事業企画部長<br>2015年3月 経営企画室長<br>2016年3月 C F V事業統括本部長<br>2016年5月 常務取締役（現任）<br>2016年12月 C F V事業統括本部長兼会員営業部長<br>2017年3月 クラスタース統括本部長兼クラスタースMC本部長（現任）<br>2017年5月 コーポレートスタイルデザイン本部担当（現任）<br><br>[重要な兼職の状況]<br>株式会社hope for 取締役 | 176,456株   |

| 候補者<br>番 号 | 氏 名<br>( 生 年 月 日 )                      | 略 歴、 当 社 に お け る 地 位、 担 当<br>及 び 重 要 な 兼 職 の 状 況                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           | 所有する当社<br>の 株 式 数 |
|------------|-----------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------|
| 3          | まつ だ かつ じ<br>松 田 克 二<br>(1960年10月14日生)  | 1985年4月 当社入社<br>2003年12月 執行役員販売企画本部長<br>2004年6月 取締役（現任）販売企画本部長<br>2005年3月 マーケティング本部販売企画部長<br>2008年3月 マーケティング本部第2事業部長<br>2010年3月 コーポレートスタイルデザイン本部<br>経営企画部長<br>2011年5月 情報システム本部長<br>2013年3月 フルフィルメント本部長<br>2018年3月 MALOGIC本部長<br>2019年3月 プラットフォーム開発本部長（現任）                                                                                                                                                  | 6,500株            |
| 4          | まつ もと かず こ<br>松 本 和 子<br>(1961年11月25日生) | 1984年4月 当社入社<br>1999年2月 商品開発統括本部ファッション部長<br>2002年2月 コレクション事業統括本部第4コレ<br>クション部長<br>2004年3月 商品開発本部第2マーケティング部長<br>2005年3月 マーケティング本部第2事業部長<br>2007年3月 執行役員マーケティング本部第2事<br>業部長<br>2009年2月 執行役員マーケティング本部マーケ<br>ティング推進部長<br>2012年3月 執行役員マーケティング本部長<br>2013年3月 執行役員経営企画室長<br>2013年5月 取締役（現任）<br>2014年3月 マーケティング本部長<br>2015年3月 CFV事業本部長<br>2016年12月 CFV事業本部長兼ファッション事<br>業部長<br>2017年3月 クラスタ開発本部長兼ファッショ<br>ン事業部長（現任） | 10,100株           |

（注）各候補者と当社との間には、特別の利害関係はありません。

第3号議案 補欠の監査等委員である取締役1名選任の件

法令に定める監査等委員である取締役の員数を欠くことになる場合に備え、補欠の監査等委員である取締役１名の選任をお願いいたしたいと存じます。

なお、本選任の効力は、当社定款の規定により選任後2年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時株主総会開始の時までであります。補欠の監査等委員である取締役が、監査等委員である取締役に就任する前に限り、監査等委員会の同意を得て、取締役会の決議によりその選任を取り消すことができるものとさせていただきたいと存じます。

本議案に関しましては、監査等委員会の同意を得ております。

補欠の監査等委員である取締役候補者は、次のとおりであります。

| 氏名<br>(生年月日)                       | 略歴、当社における地位、担当及び重要な兼職の状況                                                                                                                                                                                                                                   | 所有する当社の株式数 |
|------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------|
| きん すい ただし<br>金 水 正<br>(1958年9月2日生) | 1986年1月 当社入社<br>1990年12月 国際本部長<br>1993年12月 第5営業企画本部長<br>1998年12月 商品開発統括本部生活コーディネイト部長<br>2001年12月 コレクション事業統括本部第1コレクション部長<br>2008年3月 マーケティング本部事業開発部長<br>2012年3月 コーポレートスタイルデザイン本部総務部長<br>2017年5月 執行役員コーポレートスタイルデザイン本部長兼総務部長<br>2019年3月 コーポレートスタイルデザイン本部長付(現任) | 2,800株     |

(注) 候補者と当社との間には、特別の利害関係はありません

以上

メ モ

Handwriting practice lines consisting of 18 horizontal dashed lines.

メ モ

Handwriting practice lines consisting of 18 horizontal dashed lines.

メ モ

Handwriting practice lines consisting of 18 horizontal dashed lines.

# 株主総会会場ご案内図

会場：神戸市須磨区弥栄台二丁目7番地

エスパスフェリシモホール

Tel (078) 325-5555

(駐車場はございませんので、公共交通機関をご利用ください。)



○神戸市営地下鉄  
「総合運動公園」駅下車  
改札を出て左側へ…徒歩約1分

○新幹線でお越しの場合  
「新神戸」駅で乗り換え、神戸市営地下鉄で約23分

○京都・大阪方面よりお越しの場合  
JR「三ノ宮」駅または、阪急・阪神電車の「神戸三宮」駅で乗り換え、神戸市営地下鉄で約21分